

● 家族が認知症になったら、どうすればいいのか

総合南東北病院 神経内科科長

かとう まさあき
加藤 昌昭



認知症の方やご家族をサポートする

● 岩沼市認知症初期集中支援チームのご紹介

総合南東北病院 認知症看護認定看護師
看護主任

ほそや まなみ
細矢 愛実



講話終了後、もの忘れ相談会を開催します（事前予約不要）。お気軽にご参加ください。

日時 平成30年9月29日（土）
午後1時～2時30分（開場12時30分）

場所 総合南東北病院 2階講堂

〈これって認知症？〉一般に、認知症の徴候として以下のような例が多いとされています。

- ・最近、家族が誰かに物を盗られたと妄想する
- ・さっきご飯を食べたのに食べてないと言う
- ・身だしなみに構わなくなった
- ・勘違いや誤解が多くなった（話がずれる、噛み合わない）

あれ、自分の家族がいつもと違う。もしかしたら認知症になってしまったのではないか。そのように心配になることはありませんか？高齢者の4人に1人が認知症または、その予備軍と言われており、高齢化に伴い今後も増加が見込まれます。

今回のセミナーで、家族が認知症になってしまった場合どうしたらいいか、一緒に考えてみませんか？

お問合せ

総合南東北病院 〒989-2483 宮城県岩沼市里の杜1丁目2番5号

TEL 0223-23-3151（月曜日～土曜日 午前8時30分～午後5時）※祝日を除く



主催：社会医療法人 将道会 総合南東北病院